

高大連携さらに推進

光星学院4者が協定調印

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)が運



協定に調印した(左から)外崎学長、大谷学長、小野崎校長、橋場校長

営する八戸学院大学・同大
学短期大学部と八戸学院光
星高校・同学院野辺地西高
校は7日、高大連携事業を
一層推進させるための協定
に調印した。4月から両高
校の生徒が同大学・短期大
学部 of 講座を受講、単位を
修得できるようにする。
調印は同市の八学光星高

で行われ、大谷真樹八学大
学長、外崎充子同短大工学
長、小野崎龍一八学光星高
校長、橋場保人野辺地西高
校長が出席した。大谷学長
は「これまで4者間で連
携してきたが、協定を機に
高大7年間の私学教育の連
携をより密接にしたい」な
どと抱負を語った。

八学光星高によると、高
校生は「総合学習の時間」
や、夏休み・冬休みを活用
するなどして大学・短大部
の講座を受け、大学・短大
の単位を前倒しして修得で
きる。
同校は新年度から単位制
を導入する方針で、小野崎
校長は調印後の会見で「総
合学習の時間を活用するた
め、大学の講座受講で高校
と大学の双方の単位が修得
できる」とメリットを語っ
た。大谷学長も「高校生が
系列大進学に興味を持つき
っかけになる」などと話し
た。(若松清巳)